

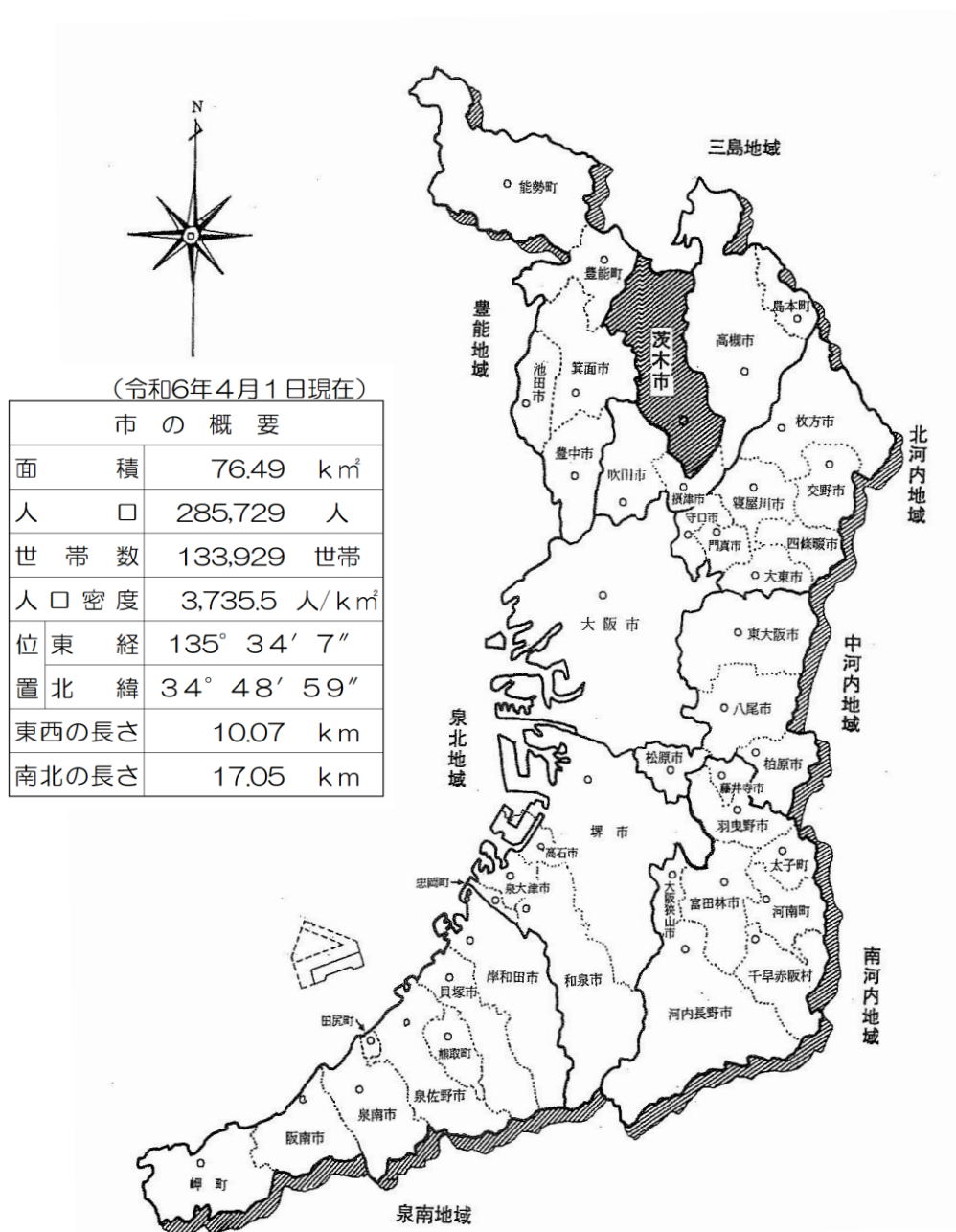
概要



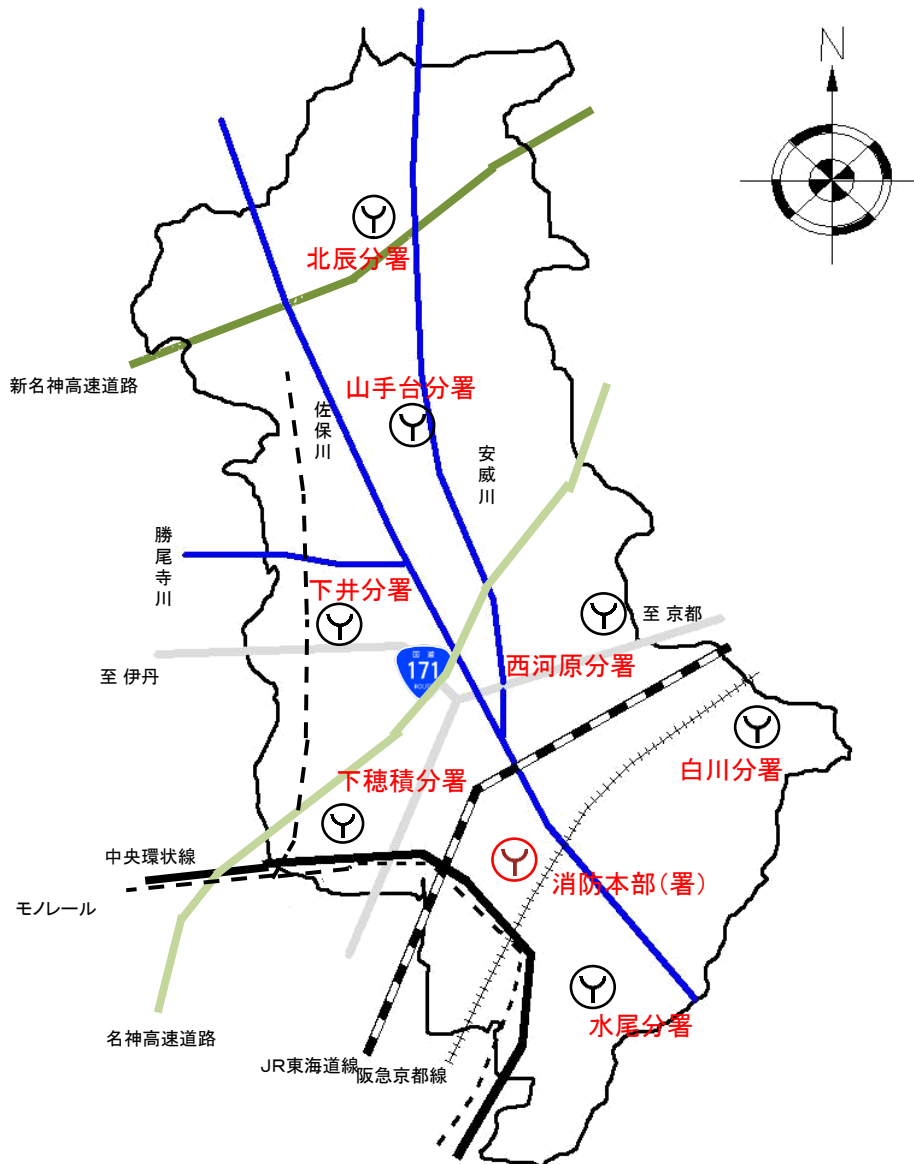
地 勢

本市は、大阪府の北部、淀川の北にあり、丹波高原の一部をなす老の坂山地の麓に、南北17.05km 東西10.07km 面積76.49km²で、南北に長く東西に短い地形をなし、市域の北半分は山地部、南半分は平地部に分かれ、この平地部に商工業・住居が集中しています。

また、北は京都府亀岡市に、東は高槻市に、南は摂津市に、西は吹田市・箕面市・豊能郡豊能町に接しています。



消 防 本 部（署） ・ 分 署 の 配 置



庁 舎 の 概 要

名 称	所 在 地	電 話	延床面積㎡	構造／階数	建築年
茨木市合同庁舎 (消防本部(署))	東中条町2番13号	622-6955	1,954 *(2,513)	RC造 地下1F 地上7F	昭和48年
水尾分署	水尾三丁目18番15号	638-1119	597	RC造／2F	平成3年
下井分署	下井町2番3号	641-4141	823	RC造／2F	平成元年
下穂積分署	下穂積一丁目7番10号	625-1402	798	RC造／2F	平成10年
西河原分署	城の前町1番10号	627-0841	905	RC造／2F	平成24年
北辰分署	大字泉原38番地の8	649-3222	480	RC造／2F	昭和49年
白川分署	白川二丁目11番1号	635-5810	480	RC造／2F	昭和57年
山手台分署	山手台二丁目2番23号	649-0143	786	RC造／2F	昭和60年

* 茨木市合同庁舎を消防本部(署)として部分的に占有

茨木市消防本部の沿革

昭和23年	10月1日	消防組織法の施行により、吹田市外1市14村組合消防から分離し、自治体消防として茨木市消防本部（署）が発足 所在地 茨木市大字茨木官有地 職員 14人、消防ポンプ自動車2台 ◆初代消防長 高島 好隆 就任
昭和24年	2月20日	本部庁舎移転 所在地 茨木市大字茨木1110番地
	12月28日	◆第2代消防長 森本 又二 就任
昭和25年	1月6日	第1回茨木市消防出初式挙行 参加車両等 署3台 団1台 手引10台
	9月20日	茨木市消防委員会設置
昭和26年	12月20日	本部庁舎移転 所在地 茨木市大字茨木三島郡役所跡
昭和27年	11月28日	茨木市職員定数条例の改正（消防職員 33人）
昭和29年	2月10日	安威村、玉島村編入。人口44,099人、面積 28.70km ²
	4月	◇初代消防団長 中島 純蔵 就任
	12月5日	本部庁舎移転 所在地 茨木市大字下中条381番地の1
昭和30年	4月3日	福井村、石河村、見山村、清溪村編入。 人口45,718人、面積 69.69km ² 救急運用開始
昭和31年	11月19日	茨木市職員定数条例の改正（消防職員 28人）
	12月25日	豊川村一部編入。人口58,434人 面積 75.19km ²
昭和32年	3月30日	三宅村編入。人口63,721人 面積 78.26km ²
昭和33年	3月31日	望楼竣工。RC造、高さ33m
昭和34年	4月3日	茨木市職員定数条例の改正（消防職員 32人）
昭和36年	3月3日	庁舎新築。鉄筋鉄骨造3階建
	4月1日	茨木市職員定数条例の改正（消防職員 42人）
昭和38年	7月15日	救急車1台 本署に配置（名神 救急事務開始）
昭和39年	1月8日	第1回茨木自衛消防隊出初式挙行 参加隊12隊 参加人員84人
昭和40年	3月31日	茨木市職員定数条例の改正（消防職員 58人）
	4月1日	茨木市消防署西分署人員17人で開設 所在地 茨木市五日市緑町5番10号 消防ポンプ自動車1台、水槽付ポンプ自動車1台、救急車1台

昭和41年	10月21日	茨木市職員定数条例の改正（消防職員 74人）
	12月14日	スノーケル車1台 本署に配置
昭和42年	4月1日	茨木市消防署東出張所人員8人で開設 所在地 茨木市稲葉町16番25号 消防ポンプ自動車1台
昭和43年	4月1日	茨木市職員定数条例の改正（消防職員 80人） 消防特別救助隊発足（本署）
	8月15日	テレビ監視カメラを市役所屋上に設置
昭和44年	2月25日	5t水槽車1台 本署に配置
	3月31日	茨木市職員定数条例の改正（消防職員 90人）
	11月1日	赤バイ隊発足（本署）
	12月18日	◆第3代消防長 続木 清 就任
昭和45年	4月1日	茨木市職員定数条例の改正（消防職員 100人）
	4月	◇第2代消防団長 秋田 伊三郎 就任
	4月27日	茨木市消防署南分署人員15人で開設 所在地 茨木市松ヶ本町10番35号 消防ポンプ自動車1台、水槽付ポンプ自動車1台、救急車1台
昭和46年	3月31日	茨木市職員定数条例の改正（消防職員 108人）
	12月16日	はしご車（32m級）1台 本署に配置
昭和47年	4月1日	茨木市職員定数条例の改正（消防職員 118人）
昭和48年	1月16日	本部庁舎移転 所在地 茨木市東中条町2番13号
	3月7日	茨木市消防署北分署人員17人で開設 所在地 茨木市西河原二丁目16番17号 消防ポンプ自動車1台、水槽付ポンプ自動車1台、救急車1台
	4月1日	茨木市職員定数条例の改正（消防職員 130人）
	12月1日	茨木市消防署東出張所が東分署（人員17人）に昇格 消防ポンプ自動車1台、水槽付ポンプ自動車1台、救急車1台
	12月25日	消防救急指令装置B型を配置
昭和49年	1月6日	石油ショックにより市及び自衛消防隊の両出初式を中止、表彰式を実施
	4月1日	茨木市職員定数条例の改正（消防職員 145人）
昭和50年	3月8日	第1回市民と消防フェスティバル開催(阪急茨木市駅前)
	4月1日	茨木市職員定数条例の改正（消防職員 153人） 茨木市消防署北辰分署人員13人で開設 所在地 茨木市大字泉原38番地の8 消防ポンプ自動車1台、救急車1台、搬送車1台
昭和51年	3月3日	スクアート車1台 本署に配置

昭和52年	2月16日	10t水槽車1台 本署に更新
昭和53年	3月9日	化学消防車Ⅲ型1台 西分署に配置
昭和54年	2月6日 3月31日 12月6日	10t水槽車1台 西分署に配置 茨木市職員定数条例の改正（消防職員 159人） 茨木市消防署音楽クラブ結成
昭和55年	3月5日 4月1日 5月1日	はしご車（38m級）1台 本署に配置 茨木市職員定数条例の改正（消防職員 163人） 全国消防長会予防委員会を開催（1日・2日） 於 豊川五丁目 富士火災海上保険（株）
昭和56年	2月1日 3月24日 3月31日 4月28日	茨木市消防音楽隊発足 救助工作車1台 北分署に配置 茨木市職員定数条例の改正（消防職員 173人） 全国消防長会近畿支部総会を開催 於 市立中央公民館
昭和57年	3月31日 4月1日 4月5日 9月	茨木市職員定数条例の改正（消防職員 183人） 茨木市消防署白川分署人員10名で開設 所在地 茨木市白川二丁目11番1号 消防ポンプ自動車1台、水槽付ポンプ自動車1台、救急車1台 搬送車1台 ◆第4代消防長 田中 春之 就任 ◇第3代消防団長 西川 源三郎 就任
昭和58年	7月6日	防犯防火交通安全を推進するため「七夕のつどい」を開催 於 国鉄茨木駅西口広場（現在：JR茨木駅西口広場）
昭和59年	7月10日	茨木市職員定数条例の改正（消防職員 201人）
昭和60年	4月1日 10月1日	茨木市消防署山手台分署人員11名で開設 所在地 茨木市山手台二丁目2番23号 消防ポンプ自動車1台、水槽付ポンプ自動車1台、救急車1台 搬送車1台 （消防救助隊編成運用開始） ◆第5代消防長 中畑 榮藏 就任
昭和61年	3月31日	茨木市職員定数条例の改正（消防職員 203人）

平成元年	4月 1日	茨木市消防署西分署 移転新築 所在地 茨木市下井町2番3号
平成2年	3月 31日 4月 1日	茨木市職員定数条例の改正（消防職員 209人） 茨木市婦人防火クラブ連絡協議会 結成
平成3年	4月 1日	茨木市消防署東分署 移転新築 所在地 茨木市水尾三丁目18番15号
平成4年	2月 28日 3月 1日 10月 1日 12月 2日	はしご車（30m級）1台 東分署に配置 ◆第6代消防長 才脇 芳喜 就任 4分署の名称を変更 東分署を水尾分署、西分署を下井分署 南分署を松ヶ本分署、北分署を西河原分署 救急救命士第1号誕生
平成5年	3月 31日	茨木市職員定数条例の改正（消防職員 219人）
平成6年	3月 31日 4月 1日 4月	茨木市職員定数条例の改正（消防職員 223人） 高規格救急車1台 本署 運用開始 ◇第4代消防団長 西原 利雄 就任
平成7年	1月 17日 4月 1日 7月 1日 10月 31日	午前5時46分「阪神・淡路大震災」兵庫県南部地域（M7.2）最大震度7 高規格救急車1台 下井分署 運用開始 震災対策用資機材（斧、掛矢、鋸、つるはし、パール、スコップ） を本署・分署及び消防団本部・各部に配備 本部庁舎耐震補強工事【第1期】完了（3階）
平成8年	1月 16日 2月 5日 2月 6日 3月 25日 3月 26日 3月 31日 4月 1日 4月 16日 12月 9日	エアテント配備 耐震性貯水槽（100t）保健医療センターに完成 救助工作車更新（西河原分署） 茨木市職員定数条例（消防職員 228人） 計測震度計 水尾分署に設置 本部庁舎耐震補強工事【第2期】完了（1・2階） 消防総合情報システム（Ⅱ型3台）運用開始 高規格救急車1台 水尾分署 運用開始 消防総合情報システム完成式を実施 はしご車〈38m級〉更新（本署）
平成9年	3月 21日 11月 4日 11月 21日	災害監視カメラ装置（市役所南館屋上）更新 旧通信指令室（3階）を 仮眠室・休養室に改装 スノーケル車を はしご車〈15m級〉に更新（白川分署） 水槽付消防ポンプ車1台 更新（下井分署）

平成10年	3月 1日	◆第7代消防長 田村 哲 就任
	3月 16日	電源照明車1台 更新 (山手台分署)
	4月	◇第5代消防団長 小林 靖彦 就任
	10月 10日	茨木市消防署松ヶ本分署 移転新築 下穂積分署に名称を変更 所在地 茨木市下穂積一丁目7番10号 消防救助隊を西河原分署から下穂積分署に配置替え 救助工作車1台、水槽付消防ポンプ車1台、救急車1台、 搬送車1台、高圧ガス充填施設

平成11年	3月 4日	水槽付消防ポンプ自動車1台 更新 (山手台分署)
	3月 17日	救急車1台 更新 (山手台分署)
	3月 30日	茨木市職員定数条例の改正 (消防職員 231人)
	4月 1日	初の女性消防士1人採用 高規格救急車1台 西河原分署 運用開始

平成12年	3月 6日	消防ポンプ車(4WD)1台更新 (本署)
	3月 27日	西河原分署耐震補強工事完了
	4月 1日	高規格救急車1台 下穂積分署 運用開始
	5月 19日	◆第8代消防長 武田 忠義 就任

平成13年	2月 15日	北辰分署耐震補強工事完了
	3月 1日	消防ポンプ車(4WD)2台更新 (下井分署・山手台分署)
	4月 1日	高規格救急車1台 白川分署運用開始
	6月 24日	「市民救命士」制度の創設

平成14年	2月 15日	山手台分署訓練塔改修工事完了
	3月 14日	消防ポンプ自動車(4WD)2台更新 (西河原分署・北辰分署)
	3月 31日	茨木市消防委員会廃止
	4月 1日	高規格救急車1台 山手台分署運用開始
	10月 1日	新制服着用
	10月 18日	白川分署改修工事完了

平成15年	1月 12日	茨木市消防出初式挙行 (茨木消防自衛隊との合同開催) ※消防出初式の開催日については、1月6日以降の第1日曜日とする
	3月 11日	消防ポンプ自動車(4WD)1台更新 (白川分署)
	3月 28日	高規格救急車1台更新 (本署)
	4月 1日	高規格救急車1台 北辰分署運用開始
		◆第9代消防長 河井 亨 就任

平成16年	1月 20日	水槽付消防ポンプ自動車(4WD)1台更新 (北辰分署)
	2月 17日	消防ポンプ自動車(4WD)1台更新 (水尾分署)
	6月 1日	はしご車配置替え (下井⇄水尾)
	7月 15日	予防広報車1台更新 (予防課)
	9月 1日	携帯メールによる119番通報システム運用開始
	10月 29日	指揮統制車(4WD)1台更新 (警備課)

平成17年	1 月 25 日	緊急援助用ゴムボート配置（下穂積分署）
	3 月 28 日	高規格救急車1台更新（水尾分署）
	4 月 1 日	署・分署の夜間受付勤務を廃止
	10 月 12 日	人員輸送車1台更新（下穂積分署）
	10 月 13 日	災害用資機材搬送車1台更新（山手台分署）
	12 月 5 日	携帯電話119番通報直接受信整備完了
平成18年	1 月 20 日	山手台分署改修工事完了
	3 月 9 日	水槽付消防ポンプ自動車（4WD）1台更新（下穂積分署）
	3 月 24 日	高規格救急車1台更新（下井分署）
	4 月 20 日	「ISO14001」認証取得キックオフ宣言
	12 月 12 日	指揮車（4WD）1台更新（本署）
平成19年	1 月 19 日	「ISO14001」登録証交付
	3 月 28 日	高規格救急車1台更新（下穂積分署）
	4 月 1 日	高機能消防総合情報システム運用開始 ◆第10代消防長 内田 敬久 就任
	4 月 19 日	高機能消防総合情報システム運用開始式を実施
	6 月 12 日	ボート船外機配置（下穂積分署）
	7 月 1 日	エコ三輪自転車運用開始
	9 月 6 日	広報車更新（予防課）
	10 月 1 日	特別救助隊を専務化（下穂積分署）
	11 月 26 日	災害用資機材搬送車1台更新（下穂積分署）
平成20年	1 月 25 日	高規格救急車1台更新（西河原分署）
	3 月 7 日	水槽付消防ポンプ自動車（4WD）1台更新（本署）
	3 月 25 日	赤バイク運用（北辰、山手台）
	4 月 1 日	機構改正：警防第一課と警防第二課を警防課、救急救助課に変更 災害情報伝送システム（茨木消防メール）運用開始
	4 月 1 日	指揮隊運用開始（本署）
	7 月	◇第6代消防団長 山田 武司 就任
	11 月 9 日	消防本部のマスコット「消防犬ラッキー」（着ぐるみ）作成
	12 月 2 日	下井分署改修工事完了（太陽光発電設置）
平成21年	4 月 1 日	◆第11代消防長 山本 雅之 就任
	10 月 18 日	「いばらき童子」（着ぐるみ）作成
	11 月 1 日	児童防火教育開始（3ヵ年計画で全32小学校訪問）
平成22年	1 月 19 日	ISO14001 認証更新
	3 月 26 日	高規格救急車1台更新（本署救急車2）
	4 月 1 日	「救急安心センターおおさか」事業へ参画
	4 月 1 日	初の女性救急救命士誕生（本署）
	7 月 2 日	茨木市災害予防協会からミニ消防車の寄贈
	7 月 9 日	高規格救急車1台更新（白川分署）
	10 月 15 日	水尾分署改修工事完了
	10 月 29 日	搬送車（4WD）1台更新（下井分署）
	1 月 20 日	水槽付消防ポンプ車1台更新（白川分署）
	2 月 9 日	水槽付消防ポンプ車1台更新（水尾分署）
	2 月 15 日	日本消防協会より広報車（4WD）の寄贈（本部）
	3 月 17 日	小型動力ポンプ付水槽車Ⅱ型更新（下井分署）

平成23年	3月11日	14時46分「東日本大震災」宮城県東南東沖（M9.0）最大震度7
	3月11日	東日本大震災を受けて、岩手県に緊急消防援助隊として職員を派遣
	4月1日	大阪府からの権限移譲により保安三法（火薬類取締法、高圧ガス保安法、液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律）事務を開始（予防課）
	5月25日	茨木市災害予防協会よりミニ救急車の寄贈
	7月28日	高度救助資機材導入 （画像探索機Ⅰ型、Ⅱ型、地中音響探知機、熱画像直視装置、夜間用暗視装置、地震警報器）
	6月29日	茨木市災害予防協会よりミニ消防車等搬送用トレーラー1の寄贈
	11月5日	本署ボート吊り下げ用電動ウインチ設置
	12月21日	高規格救急車1台更新（下井分署）
		災害対応小型自動二輪車2台運用開始（本署・下井分署）
平成24年	1月16日	救助工作車（Ⅲ型）1台更新（下穂積分署）
	3月21日	茨木市消防署西河原分署 移転新築 所在地 城の前町1番10号
		広域避難地西河原公園及び消防署西河原分署の竣工
	3月27日	消防署西河原分署が新庁舎に移転し業務を開始 消防救助隊を下穂積分署から西河原分署に配置替え
	4月1日	高度救助隊（愛称スーパーレスキューシールド）が発隊
	4月1日	児童防災教育開始（全32小学校訪問）
	6月29日	広報車（ハイブリッド）更新（本署）
	9月27日	災害用資器材搬送車1台更新（西河原）
	10月23日	調査車更新（本署）
	11月18日	ISO14001の承認登録を返上し、「エコオフィスプランいばらき（第4版）」を開始
	12月20日	茨木市職員定数条例の改正（消防職員 239人）
平成25年	3月8日	高規格救急車1台更新（下穂積分署）
	3月15日	高規格救急車1台更新（本署）
		水槽付消防ポンプ自動車1台更新（下穂積分署）
	3月29日	水槽付消防ポンプ自動車1台更新（下井分署）
		消防救急デジタル無線システム運用開始
		茨木市消防団に初の女性消防団員（5人）が入団
		茨木市消防団部長以下の定年を60歳から65歳に引き上げる
	7月31日	本署搬送車1台更新
		茨木市災害予防協会から消火体験装置「ケスソー」の寄贈
	10月21日	本署はしご車（38m級はしご付消防自動車）更新
	11月28日	茨木ライオンズクラブから消防機動二輪車1台を寄贈
	12月26日	消防機動二輪車1台を購入
平成26年	1月7日	赤十字奉仕団から消防機動二輪車1台を寄贈
	2月1日	消防機動二輪車（3台）の運用開始
	3月28日	電源照明車から照明車へ更新
	4月1日	◆第12代消防長 萩原 利雄 就任
	5月28日	全国消防職員意見発表会（仙台市） 近畿支部代表（入賞）
	7月1日	福知山市花火大会火災に伴い、火災予防条例の改正
	7月26日	第43回消防救助技術近畿地区指導会に本市初の女性隊員出場
	11月7日	搬送車1台更新（白川分署）
	12月19日	茨木市職員定数条例の改正（消防職員 280人）

平成 27 年	2 月 17 日	タンザニア・シーハ県への水槽付消防ポンプ自動車 1 台・救急車 2 台寄贈
	2 月 18 日	水槽付消防ポンプ自動車から救助工作車（Ⅲ型）へ更新（山手台分署）
	3 月 13 日	高規格救急車 1 台更新（北辰分署）
	3 月 25 日	日本機械金型株式会社から高規格救急車 1 台寄贈（水尾分署）
	4 月 9 日	山手台分署 特別救助隊（愛称アームズ）発隊
	4 月 1 日	幼児防災教育（ぼうさいダック）開始（全公立幼稚園 12 園対象）
	7 月 4 日	第30回「大阪の消防大賞」消防団体の部で茨木市消防団が受賞
	12 月 1 日	消防ポンプ車をスモールタンクに更新（本署）
	12 月 8 日	消防ポンプ車をスモールタンクに更新（山手台分署）
	12 月 16 日	化学消防自動車Ⅲ型から化学消防自動車Ⅱ型に更新（下井分署）
平成 28 年	4 月 1 日	◆第13代消防長 泉 頼明 就任
	4 月 14 日	熊本地震 震度 7 マグニチュード 6.5
	4 月 16 日	熊本地震 震度 7 マグニチュード 7.3
	4 月 16 日	熊本地震を受けて、熊本県に緊急消防援助隊として職員を派遣
	10 月 17 日	茨木ライオンズクラブからエアアーチ 1 式寄贈
	11 月 18 日	下井はしご車（38m級はしご付消防自動車）更新
平成 29 年	4 月 1 日	機構改正：予防課に属する係を査察係と指導係の 2 係から査察係、 建築設備係、危険物保安係の 3 係に改編
	5 月 23 日	茨木商業団体連合会から丸型組立水槽 4 台寄贈
	7 月 1 日	違反対象物に係る公表制度に伴う火災予防条例の改正
	11 月 14 日	高規格救急車 2 台更新（本署・水尾分署）
	12 月 7 日	高度救助用資機材（電磁波探査装置）1 台導入
	12 月 10 日	新名神高速道路開通（救急事務開始）
	12 月 15 日	人員輸送車から支援車Ⅲ型に更新（下井分署）
平成 30 年	1 月 12 日	茨木カンツリー倶楽部からエアータント 1 基寄贈
	3 月 28 日	茨木市災害予防協会から消防音楽隊制服 18 着寄贈
	4 月 1 日	◇第 7 代消防団長 澤田 勉 就任
	6 月 18 日	7 時 58 分 大阪北部地震 震度 6 弱
	7 月 9 日	平成 30 年 7 月豪雨を受けて、広島県に緊急消防援助隊として職員を派遣
	9 月 4 日	台風 21 号 近畿地方縦断
平成 31 年	3 月 20 日	高規格救急車 1 台更新（下井分署）
	3 月 26 日	指揮車 1 台更新（本署）
	4 月 1 日	高機能消防総合情報システム更新
	10 月 10 日	日本民謡 朝鳳会からペンライト 55 本寄贈
	11 月 25 日	高規格救急車 2 台更新（本署・下井分署）
令和 2 年	3 月 31 日	消防ポンプ車をスモールタンクに更新（白川分署）
	4 月 1 日	◆第 14 代消防長 乾 克文 就任
	4 月 1 日	◇第 8 代消防団長 西村 幸一 就任
	4 月 1 日	機構改正：消防署の各分署の「警防係」を、「警防一係」と「警防二係」 の 2 係に改正
	4 月 10 日	病院前救護支援隊 E M A T から N 9 5 マスク 40 枚寄贈
	10 月 20 日	シロキ工業株式会社大阪工場から足踏み式の消毒液設置台 2 台寄贈
	12 月 1 日	茨木市消防協力会から携帯発電機 2 台、バルーン投光器 1 台、テント 1 台寄贈
	12 月 1 日	高規格救急車 1 台更新（西河原分署）

令和 3 年	1 月 10 日	茨木市消防出初式中止（新型コロナウイルス感染症拡大のため）
	2 月 4 日	消防ポンプ車をスモールタンクに更新（下穂積分署）
	7 月 9 日	茨木ライオンズクラブからアイソレーションフード（陰圧シールドREO） 2 式寄贈
	9 月 15 日	株式会社茨谷総合ビジコンからアイソレーションフード（陰圧シールドREO） 1 式寄贈

令和 4 年	1 月 9 日	茨木市消防出初式中止（新型コロナウイルス感染症拡大のため）
	3 月 2 日	高規格救急車1台更新（下穂積分署）
	3 月 17 日	消防ポンプ車をスモールタンクに更新（北辰分署）
	3 月 28 日	茨木市災害予防協会からバックボード（大）1 台、バックボード（小）1 台寄贈

令和 5 年	2 月 9 日	タンク車1 台更新（北辰分署）
	3 月 9 日	高規格救急車1台更新（水尾分署）
	3 月 24 日	消防ポンプ車をスモールタンクに更新（水尾分署）
	4 月 1 日	◆第15代消防長 野島 誠司 就任
	5 月 18 日	大阪広域生コンクリート協同組合と本市が 「災害時における消防用水等の確保に関する協定」を締結
	10 月 18 日	桃栄金属工業株式会社から高規格救急車1台寄贈（本署）

令和 6 年	1 月 1 日	能登半島地震 最大震度7 マグニチュード7.6
	1 月 1 日	能登半島地震を受けて、石川県に緊急消防援助隊として職員を派遣
	4 月 1 日	◇第9代消防団長 中村 伏男 就任